

火山噴火に伴う災害は主に活火山周辺地域で発生しています。九州でも1991年に始まった雲仙普賢岳噴火では、火砕流・土石流により、多くの人命を失うと同時に社会的損失を生み、その後の火山防災対策が重要視されるようになりました。大分県では鶴見岳・伽藍岳、九重山、由布岳の三つの活火山を有しており、多くの方が活火山の山麓に生活しています。しかし、生活のなかで噴火を経験する機会がなく、火山に対する認識や防災への対応は十分ではありません。そこで、鶴見岳・伽藍岳を取巻く火山防災の現状と、噴火災害の実態を理解することにより、地域防災・減災の意識高揚を図ることを目的として、本セミナーを実施します。

参加無料・申込不要・定員120名（先着順）

火山防災セミナー

平成31年1月28日 月

13:30~17:00

別府市中央公民館

基調講演

「火山の噴気を化学的に調べると何がわかるか？」

京都大学大学院理学研究科附属地球熱学研究施設

施設長 大沢 信二 教授

報告

「鶴見岳・伽藍岳の活動状況と防災情報」

気象庁大分地方気象台

火山防災官

平松 秀行 氏

「火山災害と復興」

アジア航測株式会社

（大分大学減災・復興デザイン教育研究センター客員研究員）

白杵 伸浩 氏

牧 澄枝 氏

佐野 寿聰 氏

「鶴見岳・伽藍岳の火山防災」

大分大学減災・復興デザイン教育研究センター

「鶴見岳・伽藍岳の災害対応」

大分県生活環境部防災局

主幹（総括）

藤澤 央通 氏

主催 大分大学減災・復興デザイン教育研究センター
共催 気象庁大分地方気象台
後援 京都大学大学院理学研究科附属地球熱学研究施設
協力 大分県 別府市 由布市 宇佐市 日出町
アジア航測株式会社

問合先 大分大学減災・復興デザイン教育研究センター
TEL 097-554-7333 E-mail cerd-office@oita-u.ac.jp

背景画像提供：アジア航測株式会社

